

理事会報告

日本菌学会 2018 年度第 4 回理事会 議事録

日時：2019 年 3 月 28 日（金）12：00～17：00

場所：東京理科大学葛飾キャンパス・研究棟 11 階生物工学科ゼミ室 1

出席者（順不同，敬称略）：会長 山岡裕一，副会長 矢口貴志，岡根 泉（庶務），太田祐子（企画・普及），清水公德（庶務），田中千尋（企画・普及），玉井 裕（日本菌学会会報編集責任者），中島千晴（会計），名部みち代（国内集会），服部 力（編集委員長），山田明義（国内集会），幹事 伴さやか（庶務），喜友名朝彦（庶務）。
オブザーバー（次期理事・幹事候補）：糟谷大河，本橋慶一，保坂健太郎，細矢 剛，折原貴道，田中榮爾，谷口雅仁
委任状：出川洋介（国際集会）

会議成立の確認・会長挨拶

会長，副会長，理事 10 名の出席（委任状含む）により，理事会が成立したことを確認した。また，山岡会長より挨拶があった。オブザーバーとして次期理事・幹事候補者の参加が認められた。

報告事項

資料をもとに以下の事項の報告があり，承認された。

1. 庶務関係（岡根・清水 庶務担当理事）

1) 会員動向について

2018 年 11 月末から 2019 年 2 月末にかけて，終身会員へ向けて実施した会員サービス継続確認作業結果に基づいて退会希望者を会員名簿から削除したことが報告された。また，会員数が 32 名減少したことが報告された。

2) メール理事会の開催報告

2-1) 第 9 回（2018 年 12 月 17 日～2019 年 1 月 6 日）

入会申込書改訂について（改訂作業後承認）

2-2) 第 10 回（2019 年 1 月 29 日～2 月 2 日）菌学会出版

物バックナンバーの整理について（原案承認）

3) 持ち回り総会の開催報告

3-1) 第 1 回（2019 年 1 月 22 日～2 月 8 日）各賞授

賞候補者および授賞候補論文に関する審議の結果，以下の通り決定した。

- ・日本菌学会賞：細矢剛氏（国立科学博物館）
- ・日本菌学会奨励賞：遠藤直樹氏（鳥取大学）
- ・日本菌学会奨励賞：折原貴道氏（神奈川県立生命の星・地球博物館）
- ・平塚賞：Kushiro et al. 2017, Mycoscience 58, 85-94
- ・平塚賞：Tanaka and Honda 2017, Mycoscience 58,

445-451

3-2) 第 2 回（2019 年 3 月 8 日～20 日）名誉会員推挙に関する審議の結果，以下の通り決定した。

・奥田徹氏

4) その他の会議開催状況

- 1) 第 1 回授賞者および授賞論文選考委員会（2018 年 12 月 25 日）
- 2) 第 1 回名誉会員選考委員会（2019 年 3 月 1 日～6 日，メール会議）

2. 国内集会関係（山田・名部 国内集会担当理事）

1) 2018 年度日本菌学会菌類観察会（島根フォーレ）会計報告

共催：島根県立三瓶自然館サヒメル，島根県中山間地域研究センター，菌類懇話会
会計監査済（2019 年 2 月 11 日付）

2) 日本菌学会第 63 回大会（秋田大会）の進捗状況

- 2-1) 申し込み状況：2 月末に事前申し込みを終了
- 2-2) 大会日程・プログラムを近日中に大会ホームページで公開予定

3) 2019 年度日本菌学会菌類観察会（青森フォーレ）の進捗状況

開催要領を日本菌学会ニュースレター 2019-2（3 月）に投稿したことが報告された。

3. 国際集会関係（出川 国際集会担当理事，代理：山岡会長）

1) 日台合同国際シンポジウム・ワークショップ『東アジアの菌類多様性解明に向けて』開催について

- ・日本菌学会，中華民国真菌學會合同，日本菌学会関東支部 共催，2018 年 12 月 8 日～9 日，於神奈川県立生命の星・地球博物館
- ・参加者数：1 日目シンポジウム 53 名（台湾 12 名，日本 41 名），2 日目ワークショップ 29 名（台湾 10 名，日本 19 名）

4. 企画・普及関係（太田・田中 企画普及担当理事）

1) HP，SNS などの状況（田中幹事）

アジア菌学会 2019（AMC2019）の参加登録と要旨受付開始などを HP に掲載し，ML，ツイッターで配信した。

2) ニュースレター（白水幹事）

ニュースレター 2019-2（3 月号）について，順調に編集作業を進めている。

5. 編集委員会関係（服部・玉井 編集担当理事）

1) 学会誌の発行状況

- 1-1) Mycoscience
 - ・ Volume 60, 2019（契約頁数（378～）420（～462））

60 (1): 1-80 (pp. 80), Jan 2017 (予定:論文 6 編, 短報 4 編)
60 (2): 82-135 (pp. 54), Mar 2017 (論文 7 編, 短報 1 編)

- 掲載待ち論文の状況: EVISE 移行時頃から急速に投稿数が減少したが, EES 再移行後から投稿数が再増加し, 元のペースに近づいている. 投稿数の変動が大きく正確な判断が困難であるが, 来年度については契約ページの大幅な超過はない見込み.

1-2) 日本菌学会会報 (以下, 日菌報)

- 第 59 巻 (2018 年) は 2 号まで発行し, J-STAGE から公開作業中.
- 日菌報 41 巻 ~ 49 巻を J-STAGE 搭載作業中.
- 日菌報 59 (1) より投稿票の「連絡先」に記入された著者を「責任著者 (Corresponding author)」として各論文 1 頁目左下に電子メールアドレスを記すこととした.
- 日菌報は現在, 審査・編集論文はゼロの状態である.

2) 編集委員会の引き継ぎについて

混乱を防ぐため, EVISE を通じて投稿された論文については旧編集委員長が引き続き取り扱う. 新編集委員長の負担を減らせるように作業マニュアルの引き継ぎを行っている.

6. 会計関係 (中島 会計担当理事)

2018 年度一般会計および 2018 年度特別会計の中間決算案 (2019 年 2 月 15 日時点) について, 資料をもとに説明された.

7. その他

1) AMC2019 の準備状況について (中島理事)

現在, ホームページにおいて, プログラム公開中であり, 参加登録中であることが報告された.

2) 海外からの植物及び菌類標本の輸入に関する問題について (山岡会長)

2019 年 1 月の分類学連合会で報告し, 現在, 日本植物分類学会のメンバーを中心とした小委員会で活動中であることが報告された. 菌学会の窓口として細矢氏と山岡会長が関わることが報告された.

審議事項

1. 庶務関係 (岡根・清水 庶務担当理事)

1) 名誉会員候補者の募集について

学会賞の募集等は日菌報で告知されているが, 名誉会員の募集は代議員に個別に郵送で案内を出している. 審議の結果, 次回から各賞同様に日菌報に募集案内を掲載することが承認された.

2. 国内集会関係 (山田・名部 国内集会担当理事)

1) 日本菌学会第 64 回大会の開催案について

大会開催案について, 資料をもとに説明が行われ, 審

議の結果, 次回理事会までに開催時期を含めて開催案の詳細を詰めることが承認された.

2) 2020 年度以降の日本菌学会菌類観察会 (フォーレ) の実施形態について

今後の観察会の実施方法について, 審議の結果, 2016 年度に開催した大津フォーレのような日帰り観察会を隔年で取り入れる方向で検討することが承認された.

3. 国際集会関係 (出川 国際集会担当理事, 代理: 山岡会長)

1) IWEMM10 (The 10th International Workshop on Edible Mycorrhizal Mushrooms) への開催補助について

IWEMM10 実行委員会に 20 万円を拠出するために, IWEMM10 側から Mycoscience へ総説論文 2 編の投稿を求めることについて, 審議の結果, 承認された. ただし, 投稿論文のオープンアクセス化については検討することとなった.

2) 近隣諸国との国際合同シンポジウム開催について

今後の韓国, 台湾, 中国との合同シンポジウムの開催については時期を含めて検討することが承認された.

4. 企画・普及関係 (太田・田中企画普及担当理事)

1) こどもを対象としたアウトリーチ活動「いきものマイクロたんけん隊」(微生物生態学会共催) の来年度 10 周年記念の開催について

2019 年 12 月 8 日, 開催予定. 従来の観察会に加えて, 特別企画 (微生物観察コーナーやサイエンスカフェなど) 開催を検討中であることが報告され, これまで通り, イベントへ協力すること, 菌学会の協力体制等, 詳細は次期理事担当で議論することが承認された.

5. 編集委員会関係 (服部・玉井 編集担当理事)

1) Mycoscience オンライン公開中の新種記載論文の取り扱いについて

現在, 費用未払の状態, 著者より論文取り下げの連絡があったにも関わらず, Editor proof の状態で停止状態にあった論文が, Elsevier 側の手違いでオンライン公開されてしまい, 現在もそのままの状態にある. 論文の取り扱いについて, 審議の結果, 紙媒体にせよ, オンライン状態のままにしておくことが承認された.

2) 日菌報の論文ストック無の状態について

現時点で投稿・編集中論文がないため, 今年は 2 号との合併号とすることも検討する必要があることが報告され, 審議の結果, 日菌報の在り方について再検討する必要があり, 編集委員会および理事会で議論すること承認された.

3) 編集委員会の引継ぎについて

任期切り替わり時期について, 審議の結果, 2019 年 4 月 1 日付けとすることで承認された.

6. 会計関係（中島 会計担当理事）

- ・ 次期会計は新旧理事間で調整の上、4月15日までに予算項目を提出することが承認された。
- ・ AMCの海外招聘者にはIFO助成金（奥田委員長名）および県の補助金（菌学会長名）に応募することが提案され、承認された。
- ・ AMCの渡航費援助について、国内開催の国際大会参加の学生会員には援助を行った前例はないが、AMC2019については担当理事を中心に検討することとなった。

7. その他

1) AMC 関連（中島理事，山岡会長）

- ・ 現在、AMC 実行委員メンバーに山岡会長の名前が掲載されているが、5月の総会以降は新会長名に変更する。また、山岡会長は引き続き運営委員として携わることが承認された。
- ・ 4月末に AMC 参加各国から提出予定の distinguish mycology award と young award 候補者の選出について、山岡会長が中心となり学会賞・奨励賞受賞者を対象に過去数年に遡り、業績に基づき候補者を選出することが承認された。

2) 英文誌の出版社の契約について（山岡会長）

現在の Elsevier 社とは 2018 年 1 月～2020 年 12 月の間での出版委託契約を締結している。契約を変更または解除するためには契約満了の 1 年前、すなわち 2019 年 12 月までに通知する必要があるため、早急に契約更新に関する是非を検討する必要があることが提起された。

3) 学会誌のバックナンバーおよび大会講演要旨集の取り扱いについて（細矢氏）

- ・ Mycoscience, 日菌報などの学会誌バックナンバーは科博, 筑波大, 勝美印刷の 3 ヶ所で各 1 冊保管し, その他は処分することが承認された (第 10 回メール理事会の審議事項)。
- ・ 大会の講演要旨集は現存している分を 1 冊ずつ残し, 欠本を揃える必要はない (最近開催分は J-STAGE で公開している)。筑波大と科博で 1 冊ずつ保管し, その他は処分することが承認された。

以上